

災害時の「電力確保」まで想定した世界最先端のG空間防災モデルの構築

提案者	福岡県北九州市、直方市、行橋市、香春町、苅田町、兵庫県立大学、九州工業大学、ESRIジャパン(株)、(株)パスコ、(株)ゼンリン、(株)ゼンリンデータコム、(株)日立製作所、九州IT&ITS利活用推進協議会、北九州情報サービス産業振興協会
実施地域	福岡県北九州市、直方市、行橋市、香春町、苅田町
事業概要	実証フィールドで導入済みの「地理空間情報プラットフォーム」及び「北九州市クラウド」を利用し、「山間部・過疎地から都市部における豪雨・洪水」に対応したSNS・センサ等の情報をリアルタイムに収集し、各種情報伝達媒体を利用し、住民の避難を支援する情報発信・伝達を行う防災モデルを構築・実証する。さらに、系統電源を喪失した場合を想定した電気自動車を「動く蓄電池」に見立てた電力輸送システムも構築・実証する。

災害時の「電力確保」まで想定した世界最先端のG空間防災モデルの構築

